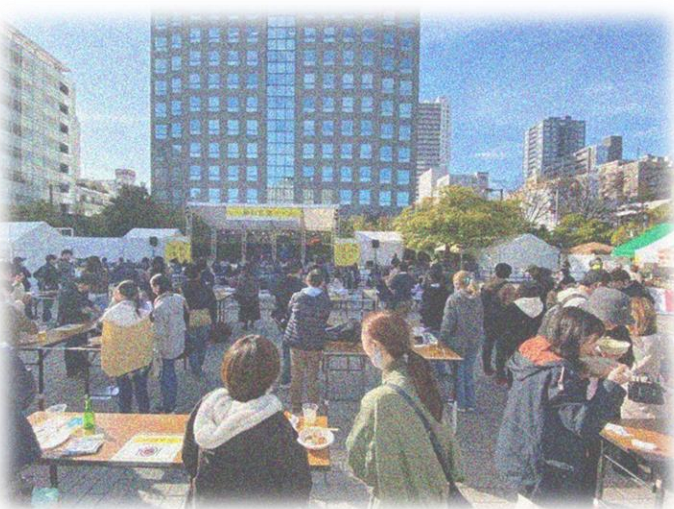




屋外モデルイベント開催支援事業 検証報告書 概要版

令和3年3月
仙台市



1 はじめに

新型コロナウイルス感染症の発生後、屋外を会場として不特定多数を集めて開催するイベントの多くが中止や延期を余儀なくされている状況を受け、仙台市では令和2年8月に「屋外モデルイベント開催支援事業」として、適切な新型コロナウイルスの感染防止対策を講じたイベントの開催にかかる経費の一部を補助することとしました。

この報告書では、補助対象となった4件のイベントにおいて講じられた感染症対策とその結果について検証し、コロナ禍における屋外イベント開催のため留意すべき事項等をご紹介します。

2 新しい生活様式に対応したイベント開催に向けた国・県の取り組み

(1) 国の対応

国では、日常生活の中において感染拡大防止の観点から取り入れるべき実践例を公表しているほか、令和2年6月にスマートフォン向けの新型コロナウイルス感染症接触確認アプリ「COCOA」をリリースし、感染可能性の早期把握と検査の受診など保健所のサポートを速やかに受けることを可能にしました。また、イベントの開催要件や留意事項等について、各自治体及び省庁等へ、感染症の状況を踏まえた通知を随時発出しています。

(2) 宮城県の対応

宮城県では、店舗等において感染者が認められた場合、利用者に対して迅速に感染情報を伝達する「みやぎお知らせコロナアプリ(MICA)」の運用を令和2年5月から、一定の基準を満たした感染防止対策に取り組んでいるイベントであることを示す「新型コロナ対策実施中ポスター(イベント向け)」の発行を令和2年8月からそれぞれ開始しました。

3 本市の取り組み

(1) 「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う事業及び施設等の取り扱いに係るガイドライン」の策定

市主催事業等の取り扱いや市有施設の使用についてガイドラインを策定し、政府の段階的制限の緩和や宮城県の対応方針を踏まえ、随時改訂を行ってきました。

【市施設の使用・催事開催制限の状況】(仙台市ガイドラインより抜粋)

時期	イベントの種類	収容率	人数上限
令和2年9月19日から 令和3年4月30日まで	A 大声での歓声、声援等が想定されないもの	100%以内 (収容定員がない場合は、 密が発生しない程度の間隔)	①収容人数10,000人超 ⇒収容人数の50% ②収容人数10,000人以下 ⇒5,000人
	B 大声での歓声、声援等が想定されるもの	50%以内 (収容定員がない場合は、 十分な間隔(1m))	

(2) ガイドラインに沿った本市の対応

市ガイドラインに従い、8月～10月にかけての各区区民まつり、10月の仙台クラシックフェスティバル2020など、市主催事業を中止したほか、仙台・青葉まつりなど多くの大型屋外イベントも中止となりました。

イベント名	令和2年度開催予定日	入込数
第36回仙台・青葉まつり	5月16日(土)から 5月17日(日)まで	97.15万人 (令和元年度)
仙台七夕まつり	8月6日(木)から 8月8日(土)まで	224.9万人 (令和元年度)
第30回定禅寺ストリートジャズフェスティバル	9月12日(土)から 9月13日(日)まで	77万人 (令和元年度)

(3) イベント開催に係る各種支援施策

屋内イベントについて、仙台市施設使用料の減免や、民間屋内施設での公演に対する会場使用料の一部減免等の支援制度を立ち上げました。屋外イベントに関しては、大型観光イベントに係る事業継続を支援するとともに、屋外モデルイベント開催支援事業を開始しました。

4 屋外モデルイベント開催支援事業について

(1) 補助金の創設について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本市で開催される多くのイベントが中止なり、イベント運営会社や資器材、音響・照明関連会社などの関連事業者の収入は著しく減少し、事業継続に対する支援が必要となっていたことから、本市ではイベント関連事業者の事業継続と感染症対策を講じたイベントの再開に向けた機運醸成を目的とし、屋外モデルイベント開催支援補助金を創設しました。

(2) 補助金の公表から補助対象イベント決定に至る経過

令和2年8月17日(月)の公表後、提出期限の9月9日(水)までに13団体からの申請があり、庁内関係部署と外部団体で構成される審査委員会により、イベントの企画書、収支予算書、感染予防対策マニュアル等をもとに審査を実施したうえで、上位4件を採択しました。

(3) 屋外モデルイベント開催支援補助金の概要について

(1) 目的	・感染症対策を適切に講じた上で、市が所管する屋外施設において開催されるモデルイベントについて、必要経費の一部を補助することにより、イベントの主催団体や関連事業者等を支援すること。 ・モデルイベントの運営を通じて得られた課題等を検証することにより、「新しい生活様式」に対応した屋外イベントの開催ノウハウの蓄積を図り、屋外イベントの再開に向けた動きを促進すること。
(2) 補助対象者	感染症対策を適切に講じた上で、市が所管する屋外施設において、音楽演奏等のステージイベントや飲食・物販ブースの出店など、まちの賑わい創出に資するイベントを開催する市内の団体または事業者
(3) 対象期間	令和2年9月17日(木)から11月30日(月)までに開催されるイベント
(4) 対象となるイベント会場	仙台市が所管する屋外施設
(5) イベントの主な要件	・市民が親しみやすい企画内容であり、市民が広く参加できるイベントであること。 ・新型コロナウイルス感染症対策、公衆衛生及び危険防止等の安全対策が十分に講じられており、「新しい生活様式」に即したモデルイベントの検証対象として適切な事業規模及び企画内容であること。 ・国のイベント開催制限の段階的緩和の目安(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長が発出する事務連絡等に基づく)を遵守して開催されること。
(6) 補助金額	補助対象経費の3/4を補助(上限6,000千円)
(7) 補助対象経費	・感染症対策関連経費、イベント運営関連経費、運営スタッフ人件費、警備費、会場設営関連経費 ・看板制作費、事務局費などの諸経費

(4) 屋外モデルイベント開催支援補助金 補助対象イベントの概要

イベント名	NEW NORMAL for SENDAI ～杜の都復活祭～	2020KHBフリーマーケット in あすと長町 杜の広場	みちのくまるごと収穫祭 in 仙台	仙台食堂2020
主催	イベントの未来を考える会	(株)東日本放送	一般社団法人KIZEN	仙台食堂2020実行委員会
日時	10月3日(土)10:00～18:00	10月31日(土)9:00～15:00 11月1日(日)9:00～15:00	11月2日(月)10:00～16:00 11月3日(祝)10:00～16:00	11月14日(土)10:00～14:00 15:00～19:00 11月15日(日)10:00～14:00 15:00～19:00
会場	勾当台公園市民広場	あすと長町 杜の広場公園	勾当台公園市民広場、 仙台市役所本庁舎駐車場	勾当台公園市民広場、 カフェ前広場
内容	「コロナ禍におけるイベント開催」をテーマとした学識経験者による講演・パネルディスカッション、飲食ブースの出店、青葉まつり等のPRブース出展、ステージイベント	フリーマーケット、食品・雑貨・飲食店等の出店、ステージイベント	東北の食材等を販売する生産者、飲食店等の出店、ドライブスルーマルシェ、ステージイベント	東北の一次生産者と市内飲食店のコラボブース、ケータリングカーの出店、ステージイベント
来場者数	3,704人	11,197人 (1日目:5,082人、2日目:6,115人)	5,331人 (1日目:1,114人、2日目:4,217人)	2,793人 (1日目:1,223人、2日目:1,570人)

(1) 本市のガイドラインの遵守状況に関する検証

補助対象イベント4件について、本市のガイドラインの遵守状況について検証しました。

① 会場

(ア) 会場レイアウトの設定

- ・会場への来場者の氏名や連絡先等を把握するため、イレクターフェンスの活用による会場エリアの区分けは有効。
- ・来場者による密集発生を防止するため、会場内の通路幅を十分に確保することが必要。
- ・ステージの立ち見客の発生防止のため、飲食エリアはステージ観覧エリアと離れた区画への配置が望ましい。



▲イレクターフェンス設置による
エリアの区分け



▲十分な通路幅の確保が必要



▲飲食エリアとステージ観覧エリアの
区分けが必要

(イ) 入退場口

- ・入場者と退場者の導線が錯綜しないよう、設置位置を工夫し、案内表示の視認性にも気を配ることが必要。
- ・入場手続きの効率化など、入場口での受入体制の強化は来場者の円滑な入場を促すために有効。
- ・待機列の発生を想定し、待機位置の目安を表示し、待機列が伸びた場合のスペースの確保が必要。



▲入場口の設置



▲来場者導線の錯綜を避けるため、
案内表示の視認性について配慮



▲待機位置を示すフットプリント

(ウ) 公園通行者のための導線確保

- ・市所管の公園を会場とする際は、公園通行者の導線確保について配慮いただくことが望ましい。導線の場所は、会場内の各エリアの面積を十分に確保できるよう、施設管理者と協議の上で決定すること。

(エ) ステージエリア

- ・ステージイベントは来場者の関心が高く、密集が発生しやすいことから、ステージ前の観覧エリアや観覧席は可能な限りゆとりをもって設定することが必要。



▲ベンチの間隔を十分に確保



▲ベンチ中央にサインを表示し、
3人掛けのベンチを2人掛けで使用

(オ)物販、飲食、休憩スペース

- ・飲食、休憩スペースは、来場者が最も長時間滞在する区画であり、想定来場者数に基づき、飲食・休憩スペースを確保することが重要。
- ・横並びや対面での飲食が想定される場合には、人と人との間に飛沫防止シートやアクリル板を設置するなど、レイアウトを十分に工夫することが必要。
- ・飲食提供ブースにおいては、店舗スタッフによる誘導のみならず、主催者が整理のためのスタッフを巡回させるなど、適切な対応が必要。



▲ゆとりをもった飲食休憩スペースの確保が重要



▲ブース前に待機位置を示すフットプリントの表示



▲待機列整理のためにカラーコーンとバーを活用

② 会場内への入場規制

(ア)会場内の最大収容人数の設定

- ・最大収容人数は、飲食・物販の出店ブースやテント等の造作物を設置するスペースを除外した、来場者が滞在できる区画の面積をもとに試算することが必要。
- ・試算にあたっては、イベントプログラムの構成や人が集まりやすい区画、時間帯の想定など、様々な要素を勘案した上で設定することが望ましい。

■最大収容人数の目安と実際の来場者数、滞在可能な時間の上限の設定

イベント名	会場	会場面積	最大収容人数の目安*	滞在可能な時間の上限*
NEW NORMAL for SENDAI	勾当台公園市民広場	3,000㎡	500人	2時間
2020KHBフリーマーケット	杜の広場公園	8,160㎡	2,040人	—
みちのくまるごと収穫祭	勾当台公園市民広場	3,000㎡	750人	—
仙台食堂2020	勾当台公園市民広場 ・カフェ前	4,100㎡	800人	4時間

※「最大収容人数の目安」と「滞在可能な時間の上限」は主催者が独自に設定したもの

(イ)会場内収容人数のコントロール

- ・会場内における来場者の密集を防ぐためには、場内に滞留する来場者数を適切に管理することが必要。
- ・再入場者がいることを前提として、リストバンド等、再入場者の認識を容易とするための準備が必要。

入場時間 9:30~12:00 NEW NORMAL CONFIRMED	入場時間 12:00~14:00 NEW NORMAL CONFIRMED
入場時間 14:00~16:00 NEW NORMAL CONFIRMED	入場時間 16:00~18:00 NEW NORMAL CONFIRMED



▲入場口で来場者にリストバンドを装着

③ イベント参加者情報の把握

- ・イベント関係者の「健康観察」及び「行動履歴」の記録については、記入すべき事項を具体的に例示することなどにより、記入者の負担軽減を図ることが必要。
- ・来場者については、WEBの活用による事前登録の導入等や、氏名と電話番号に限定した記載など、入場手続きに要する時間の短縮に向けた工夫が必要。



▲WEB登録と連絡先記入のレーンを分けることで、入場時の混雑緩和



▲来場者は氏名と連絡先のみ記入



▲会場の周囲に設置したイレクターフェンスにWEB登録フォームのQRコードを掲示することで、事前登録を促す

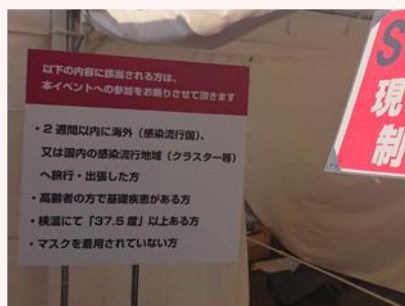
④ 感染症対策

(ア)入退場口

- ・感染の恐れのある方の入場による感染拡大を防止するため、来場者の協力により検温等の健康確認と手指消毒を実施することが必要。
- ・マスクを着用していない来場者のために、主催者は予備マスクを用意しておくことが必要。



▲非接触式体温計による検温の実施



▲体調不良者は入場不可である旨を周知するサイン

(イ)ステージエリア

- ・備品については、使用者が変わる都度、消毒を実施するか、使いまわしを禁止することが必要。
- ・ステージ出演控室については、密集が生じることがないように、十分な面積を確保し、入室制限する等の取り組みが必要。

(ウ)物販、飲食、休憩スペース

- ・飲食・休憩スペースは、定期消毒の実施等、適切な衛生管理とレジまわり等への飛沫防止シートの設置、キャッシュレス決済の導入が有効。



▲定期的な消毒の実施が必要



▲レジまわりを中心に飛沫防止シートを設置



▲キャッシュレス決済の導入により接触機会を低減

(エ) イベント関係者・来場者への周知

- ・イベントに関わる全ての関係者が、日ごろから感染拡大防止について強く意識するとともに、今後開催されるイベントにおいても、主催者は関係者等に対し、事前に感染症対策を周知しておくことが必要。
- ・イベント来場者の感染症対策の徹底のためには、事前広報が有効。

■ 感染予防に関するイベント関係者への事前周知事項（2020KHBフリーマーケットの例（一部抜粋））

①	普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気を付け健康維持につとめる。会場でも同様の行動をすること。
②	設営・当日・移動手段（行き帰り）での防菌対策を徹底すること（マスク着用など）。
③	入場ゲートで体温チェックを受けること。

(2) 収支計画に関する検証

- ・コロナ禍でのイベント開催では、感染症対策により必要となる経費負担が生じる一方で、出店料や協賛金等の収入が減少するため、それに代わる新たな収入源の確保が必要。
- ・入場料を設定したり、提供する飲食物等の販売価格を妥当な範囲で検討するなど、感染症対策に係る経費の一部を来場者に負担してもらうことは、手段として検討しうるものと思料。

■ 補助対象イベントにおいて予算計上された感染症対策にかかる主な支出項目

感染症対策費	消耗品関連（消毒液、マスク、フェイスシールド、除菌シート等）、検温関連（サーマルカメラリース料、非接触型体温計購入費等）等
会場設営費	イレクターフェンス・カラーコーン・バリアース料、入退場口設営用テント・テーブル・椅子リース料、パーテーション・ビニールカーテン・サーキュレーターリース料等
看板制作費	注意喚起パネル・入退場等誘導パネル制作費等
運営スタッフ等人件費	入場者誘導等感染症対策のためのスタッフ増員にかかる経費、感染症対策に関するスタッフ向け事前研修の開催経費等

6 有識者意見(東北医科薬科大学大学院薬学研究科 臨床感染症学教室 藤村 茂 教授)

- ・各イベントの状況から、勾当台公園市民広場程度の会場において感染対策上、適した来場者数は1日あたり4000人を超えないことが一つの目安になる。但し、この総数を開催時間中に分散させるプログラムの設定が必須である。またイベント共通の問題として、ステージ演目の際、飲食エリアからの立ち見客の対応を検討しなければならない。
- ・新型コロナウイルスに対するワクチン接種が始まったものの、県民の多くが接種完了するまで暫くかかると予想され、さらに変異ウイルスも未解明の部分が多々あることから、当分は、各々の感染対策をこれまで通り行う必要がある。

7 イベント開催時に留意すべきポイント

コロナ禍における屋外イベント開催時に主催者として留意すべきポイントをまとめました。

(1) イベントの企画時に留意すべき事項

- ① 国や自治体のガイドラインを遵守した企画立案
- ② 三密回避に配慮した会場の設定
【全体的なレイアウト設定について】【入退場口について】【待機列対策について】
【公園通行者のための導線確保について】【ステージエリアについて】【物販、飲食、休憩スペースについて】
- ③ 最大収容人数の設定
- ④ イベント関係者の連絡先把握
- ⑤ イベント関係者への感染症対策の周知徹底
- ⑥ 来場者への広報

(2) イベント開催当日に留意すべき事項

- ① 来場者情報の把握
- ② 会場内収容人数のコントロール
- ③ 感染症対策の徹底
【入退場口について】【ステージエリアについて】【物販、飲食、休憩スペースについて】

(3) イベント開催後に留意すべき事項

- ① イベント参加者情報の保管と破棄

■お問い合わせ

仙台市文化観光局 東北連携推進室

電話：022-214-8496 ファクス：022-214-8456 Eメール：bun008620@city.sendai.jp

※「屋外モデルイベント開催支援事業検証報告書」の全文は上記QRコード・下記URLからご覧いただけます。
<http://www.city.sendai.jp/tohokurenke-kikaku/moderuibento/200817.html>

